

病児保育室 さいせいかいだより

令和5年10月 済生会新潟病院 病児保育室さいせいかい

眩しい夏もひと段落。実りの秋がやってきますね！たのしい秋、おいしい秋、創作の秋…お子さんやご家族にとってもステキな季節になりますように、体調管理には気を付けたいものです。

季節の変わり目…体を動かし、汗をかいたらこまめに着替え、水分補給に、美味しいものを食べて免疫UP！みなさんの元気と笑顔が何よりも大切です(*^^*)



お子さんのほっこりエピソードを紹介します！

製作が好きなお子さんと段ボールでロボットを作りました。「手はこうしたい！」と、細かいところまで作るお子さんの発想力に驚きでした。

年齢が近いと最初は照れている様子がありますが、少しずつ一緒に遊ぼうとしてくれる姿にほっこり。おままごととお人形遊びに花が咲きました*

ポケモンが大好きでポケモンを探す絵本や図鑑を熱心に見ていて、集中力と暗記する力に感心しました！保護者の方にお話すると、お家にも同じものがあるとのこと！お子さんの力は無限大ですね!!

同じお部屋に小さいお友だちと一緒に…最初は戸惑っているようでも、音の鳴るおもちゃや車のおもちゃを渡してくれたり、遊んでいたコップも貸してくれる…小さい子に優しいお子さんの姿に心が温かくなりました(*^^*)



～事前登録について～
事前登録はお電話での予約制となっております。
持ち物は、こども医療費受給者証・健康保険証・母子健康手帳です。
お子さんが元気なうちに、お電話お待ちしております。

～ご予約についてのお願い～
予約は医師連絡票を書いてもらってから
お電話での予約をお願いします。



流行状況のお知らせ

下記：令和5年4月～令和5年9月のご利用者様の疾病

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
アデノウイルス	0%	7%	11%	0%	0%	0%
インフルエンザA	43%	19%	8%	0%	0%	3%
手足口病等	0%	0%	3%	6%	9%	0%
感染性胃腸炎	2%	2%	2%	0%	11%	5%
風邪様疾患	47%	64%	59%	76%	77%	67%
その他	8%	8%	17%	18%	3%	25%

西区寺地 280-7 済生会新潟病院併設 ☎ 025-365-2432
利用日時： 月～金 7:30～18:30 (土日祝・年末年始はお休み)
※ご予約を当日にキャンセルされる場合は、7:30までに
キャンセル専用電話番号 025-378-2020にご連絡ください。

新潟市病児・病後児保育事業
に基づき、事業受託者が行う
感染症流行状況及び予防策
等の情報提供です。



小児科 Dr からのおはなしポシエット

子どもの事故予防（その2、重篤な結果につながる事故）

今回は、生命の危機に直結する事故（窒息、溺水、転落）について示します。年齢別の死亡事故の内訳では、0歳児では窒息（ベッド内、胃内容物・食物誤嚥、不明）が最多です。1歳以降では交通事故が最多となり、溺水、窒息、転落、火災と続きます（資料1）。ここでは家庭内での事故を取り上げます。

窒息：(資料2) 口に入る大きさのものは全て（食べ物だけでなく）、窒息の原因になります。直径39mm以下のものは3歳児の口に入るとされています（資料3、100頁）。ここに入る玩具（スーパーボール、風船、ビニールなど）、断面が円となる食べ物（ブドウ、ミニトマト、あめ、こんにゃく、うずらの卵、ソーセージなど）による事故が報告されています。リンゴは硬く噛み切れないため、窒息/誤嚥（気管に入る）を起こしやすいことに注意してください。このような玩具を家に置かない（手にしない）、これらの食品は細かく切ったり、すり潰したりして食べさせることを心がけてください。ナッツなど硬いものは5歳まで食べさせないでください。口の中に物を入れた状態での転倒、啼泣は窒息/誤飲につながります。上の子が下の子の口に食べ物を入れ、窒息につながる場合があります。兄弟の行動にも注意が必要です。窒息を起こすと数分で心肺停止に至ります。ここでは触れませんが、窒息時の応急手当をご確認ください（資料3、102頁）。0歳児では、乳幼児突然死症候群について頭に入れておくことが重要です（資料3、90頁）。このほかベッド柵・壁・マットレスの間に挟まる、カーテン・ブラインド・玩具の紐で窒息する、という事故も発生しています。普段からベッド周囲の隙間を取り除く、玩具の紐は外しておく、ブラインドの紐は束ねておく、などの注意を払いましょう。

溺水：(資料4) 0-1歳で浴槽、5歳以上で自然水域（海、川など）での事故が多くなっています。保育園通園児の5人に1人が浴槽で溺れかかる事故を経験しています（小児科学会の調査）。強調すべきは、声やバタつきなどの音を出さずに静かに溺れるのが特徴であるということです。「子どもだけで入浴させない」、「残し湯をしない」、「親が髪を洗うときは湯船から出す」、「入浴に複数の大人が関わる」、「目を離している間は会話を続ける」、「浴室扉の上部に鍵をかける」などの工夫が事故防止に有効です。

転落：(資料5) 室内での頻度が高く、ベッド、階段、椅子、テーブルなどがあげられますが（一時的でもこどもを高い位置に寝かせない、座らせない）、高層階のベランダ、窓からの転落が死亡事故につながります（3-4歳に多い）。ベランダや窓際に足場となるもの（室外機、植木鉢、ソファなど）を置かない。窓に格子を取り付ける、補助錠・二重鍵を設置してこどもが開けられないようにする、普段からベランダで遊ばせない、窓によりかからない、などの注意を払いましょう。こども（たち）だけで家にいる際に発生する事例が多いため、こどもを残して外出しないことが重要です。

資料：1) 子どもの不慮の事故の発生傾向

https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/67dba719-175b-4d93-8f8c-32ecd4ea36a6/e5098069/20220323_child_safety_actions_review_meetings_2022_doc_02_1.pdf

2) こどもの窒息事故 <https://www.youtube.com/watch?v=PaT8fjCNzQI>

3) 新潟市母子手帳（2023年版） <https://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/ninshin/nenrei/ninshinsyusan/boshi.files/20230401.pdf>

4) こどもの溺水事故 https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_052/assets/caution_052_210707_0001.pdf

5) こどもの転落事故 <https://www.gov-online.go.jp/useful/article/202107/3.html>